

指定廃棄物の運搬に係るモニタリング機器の使用例

1. 移動測定型のモニタリング機器

指定廃棄物の運搬車両又は伴走する車両に以下の機器を設置した例がある。

●KURAMA-II（京都大学）

自動車などに取り付けた測定器で空間線量率を測定し、測定位置をGPSにより計測し、広範囲の空間線量率をほぼリアルタイムに収集可能。

- ・福島で路線バスにおける実証試験を開始

京都大学HP

TOPICS フクシマ

- ・文科省の放射線量等分布マップ作成における走行サーベイにおいても、KURAMA を使用

●PM1703MO-1A/B（POLIMASTER）

表面線量率、空間線量率を測定できる多目的サーベイメーター。GPS との連携により、測定結果を地図上に図示することが可能。放射線源の探索にも用いられる。

2. 定位置測定型のモニタリング機器

搬入ルート上の最後の交差点や、最も近い学校等に以下の機器を設置した例がある。

●常設型

「リアルタイム線量測定システム仕様書」の仕様を満たすモニタリングポストを扱うメーカーは、以下の3社。

- ・日立アロカメディカル株式会社
- ・富士電機株式会社
- ・日本電気株式会社

右の写真は、福島県鮫川村における農林業系副産物等処理実証事業にあたり、北茨城市小川地区に設置した富士電機のモニタリングポスト。モニタリング結果を原子力規制庁ホームページに表示するため、NTT ドコモの閉域ネットワークサービスへ接続する FOMA のデータ通信契約を締結した。



●可搬型

車両等により運搬し、野外設置して使用する放射線監視装置。測定データを無線等で自動送信することにより、任意の地点の空間放射線量率を連続監視できる。

新潟県では、新潟県地域防災計画（原子力災害対策編）に定める緊急時環境放射線モニタリング業務遂行のため、可搬型放射線モニタリングポストを保有している。